

一括請求 Assist[®] Ver.2

操作マニュアル

連携編(PCA 商管)

第 2.6 版

目次

はじめに.....	2
1 連携の概要.....	3
1.1 連携の概要.....	3
1.2 連携条件について.....	5
1.3 連携の流れ.....	6
2 連携事前設定.....	7
2.1 「PCA 商管」事前設定.....	7
2.1.1 会社口座を確認する①.....	8
2.1.2 会社口座を確認する②.....	11
2.1.3 仕入先を確認する.....	15
2.2 本ソフトの事前設定.....	19
2.2.1 取引先を設定する①.....	20
2.2.2 取引先を設定する②.....	22
2.2.3 社内口座を設定する①.....	24
2.2.4 社内口座を設定する②.....	26
3 連携手順.....	28
3.1 連携手順.....	28
3.1.1 支払伝票を作成する①.....	29
3.1.2 支払伝票を作成する②.....	32
3.1.3 振込データを作成する①.....	35
3.1.4 振込データを作成する②.....	38
3.1.5 一括請求ファイルを作成する①.....	43
3.1.6 一括請求ファイルを作成する②.....	48
3.1.7 一括請求ファイルをアップロードする.....	54

はじめに

本書では、本ソフトとピー・シー・エー株式会社の仕入・在庫管理ソフト「PCA 商管」との連携について、事前設定、連携手順を説明します。

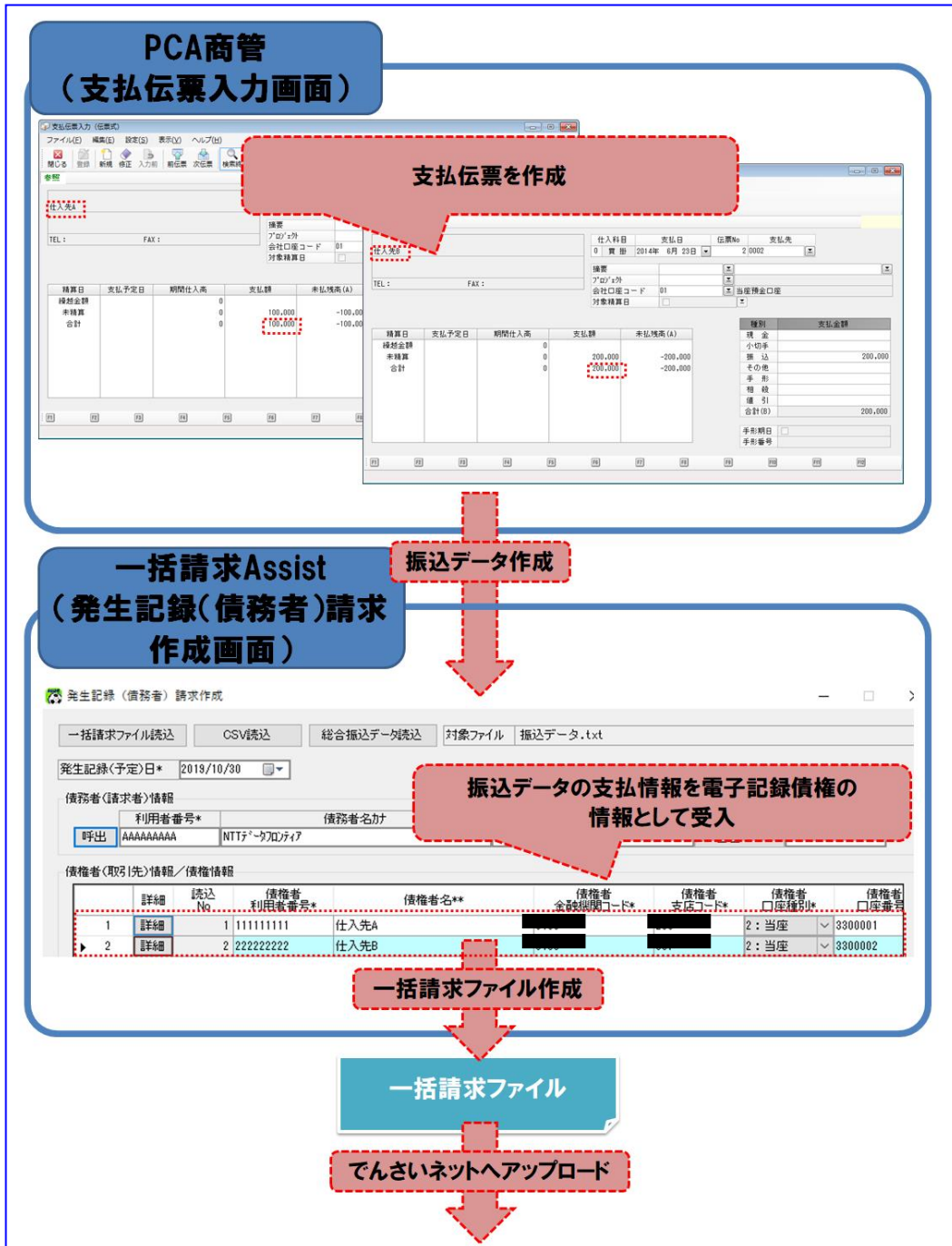
本書で使用する画面例については「PCA 商管 X」のものとなります。会計ソフトのバージョンにより表示内容が異なる場合がありますが、操作方法に差異はありません。

本書に記載されていない「PCA 商管」のその他機能の詳細については、「PCA 商管」のヘルプをご参照ください。

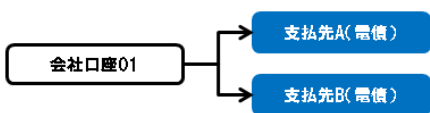
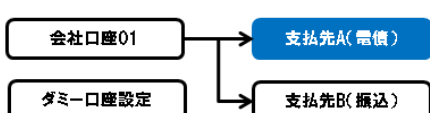
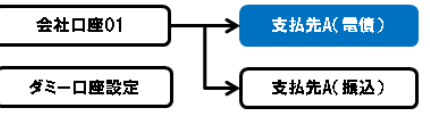
1 連携の概要

1.1 連携の概要

本ソフトは、「PCA 商管」から出力した総合振込データを読み込み、電子記録債権の債務情報を付加した発生記録（債務者）一括請求ファイル（でんさいネット標準フォーマット（固定長テキスト形式）1.2 版の集信1）を出力することができます。「PCA 商管」をご利用の場合、本ソフトと連携することにより、簡単に仕入先へ電子記録債権で支払うことができます。



なお、「PCA 商管」と本ソフトを連携する場合、お客様の利用方法によって、事前設定が異なりますのでご注意ください。（下図参照）

会社口座のパターン		マニュアル参照箇所
支払先への決済パターン	<p>① 支払先企業全てに電子記録債権で決済 ・支払先A：電子記録債権で決済 ・支払先B：電子記録債権で決済</p> 	<p>2 連携事前設定 2.1.1 会社口座を確認する① 2.1.3 仕入先を確認する 2.2.1 取引先を設定する① 2.2.3 社内口座を設定する①</p> <p>3 連携手順 3.1.1 支払伝票を作成する① 3.1.3 振込データを作成する① 3.1.5 一括請求ファイルを作成する① 3.1.7 一括請求ファイルをアップロードする</p>
	<p>②-1 支払先企業ごとに電子記録債権と振込で決済 ・支払先A：電子記録債権で決済 ・支払先B：振込で決済</p> 	<p>2 連携1：事前設定 2.1.2 会社口座を確認する② 2.1.3 仕入先を確認する 2.2.2 取引先を設定する② 2.2.4 社内口座を設定する②</p> <p>3 連携手順 3.1.2 支払伝票を作成する② 3.1.4 振込データを作成する② 3.1.6 一括請求ファイルを作成する② 3.1.7 一括請求ファイルをアップロードする</p>
	<p>②-2 同一の支払先企業に電子記録債権と振込で決済 ・支払先A：電子記録債権&振込で決済</p> 	



ダミー口座とは、本ソフトと「PCA 商管」の連携において、電子記録債権の支払と振込の支払を分割するために使用する架空の口座になります。
ダミー口座は決済には利用しません。



振込は本ソフト経由では実施できません。振込データはEBソフト等に読み込み、振込を実施してください。
振込データの作成については「**3 連携手順**」をご参照ください。



上記①、②-1の場合、「支払先A」「支払先B」のように支払先が2社の例を記載しておりますが、支払先が2社以上でも連携可能です。

1.2 連携条件について

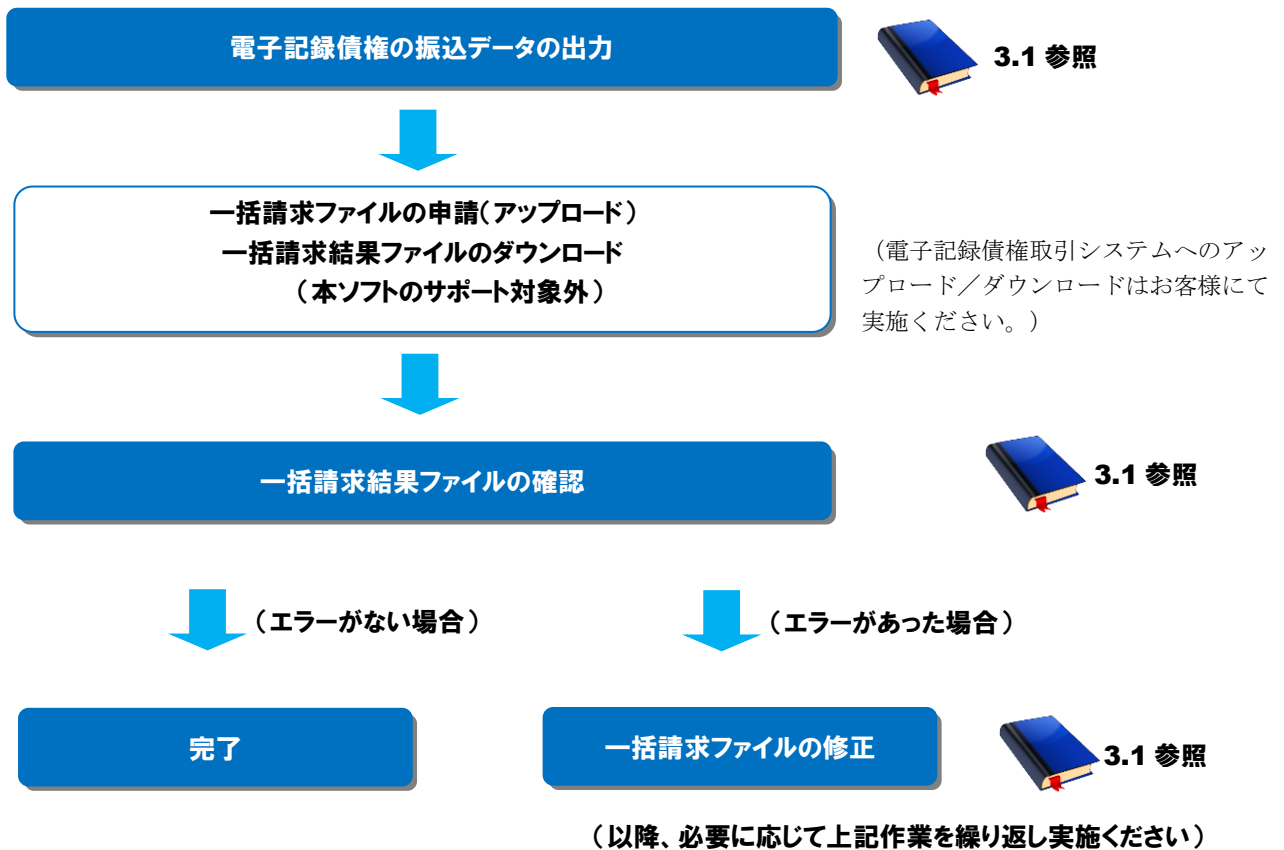
連携可能な「PCA 商管」のバージョンについては、株式会社 NTT データフロンティアのホームページをご参照ください。

1.3 連携の流れ

事前設定



連携



2 連携事前設定

2.1 「PCA 商管」事前設定

連携を行うための「PCA 商管」の事前設定方法を説明します。

操作手順

① 支払先企業すべてに電子記録債権で決済

2.1.1
会社口座を
確認する①

2.1.3
仕入先を確認する

②-1 支払先企業ごとに電子記録債権と振込で決済

②-2 同一の支払先企業に電子記録債権と振込で決済

2.1.2
会社口座を
確認する②

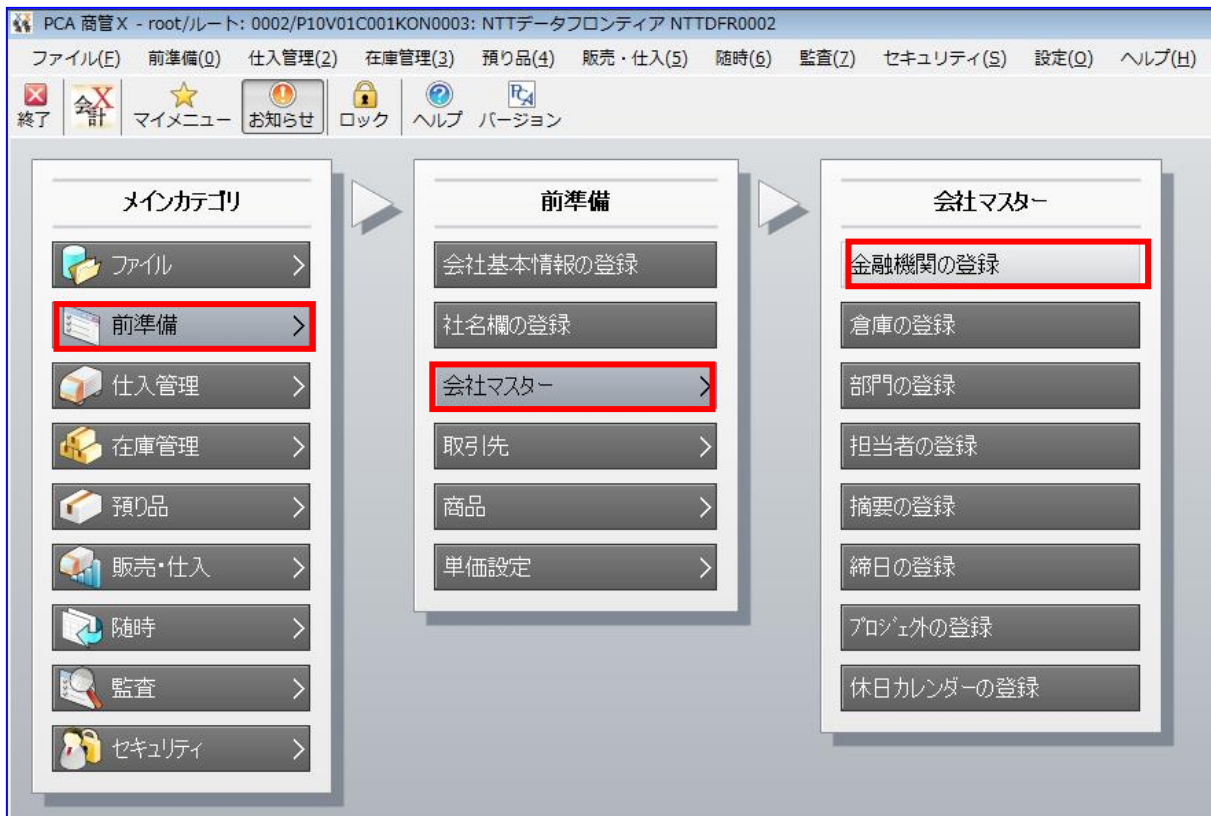
2.1.3
仕入先を確認する

操作方法

2.1.1 会社口座を確認する①

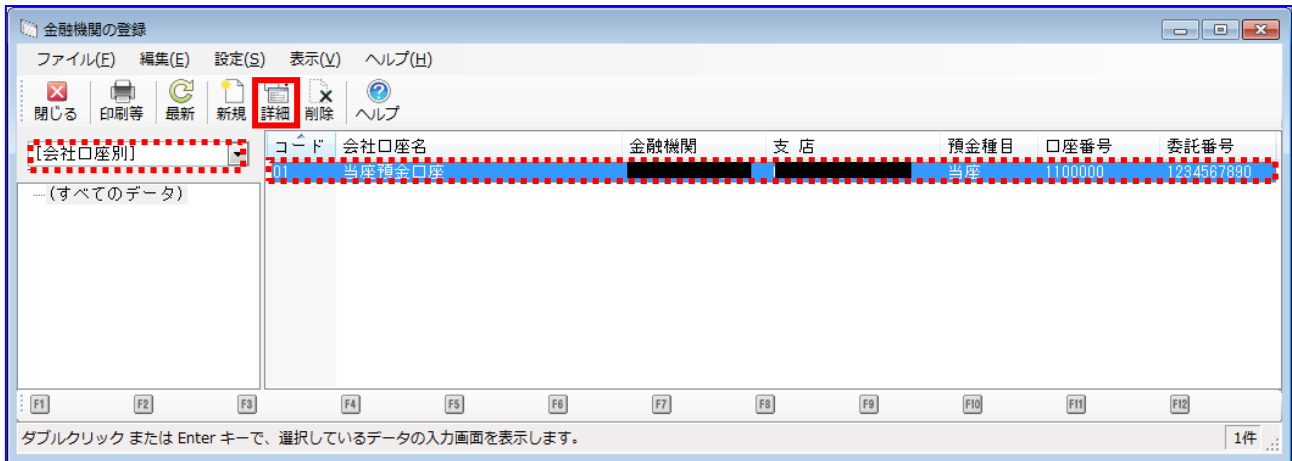
連携で使用する会社口座が登録されているか確認します。

- ✚ [前準備] > [会社マスター] > [金融機関の登録]を押下します。



[金融機関の登録]を押下時にデータ入力期間エラーが表示される場合、会社基本情報の「伝票入力可能期間」と「在庫締切日」を入力してください。

- プルダウンで会社口座別を選択し、登録されている会社口座を選択し、[詳細]を押下します。
会社コードが存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。
(新規作成方法については「PCA 商管」のヘルプをご参照ください。)



都合により金融機関、支店は黒塗りでマスクしていますが、入力が必要な項目になります。以降の金融機関、支店についても同様になります。

金融機関情報、会社口座情報が入力されていることを確認します。

金融機関の登録

電子記録債権の決済口座

参照

基本情報(A):

コード	01
会社口座名	当座預金口座

金融機関情報(B):

金融機関コード	
金融機関名	
金融機関名フリガナ	
店番号	
支店名	
支店名フリガナ	

会社口座情報(C):

預金種目	2:当座
口座番号	1100000
委託番号	1234567890
委託者名	委託者名
委託者名フリガナ	イカサメイ
区切り文字	0:CR・LF付

手数料情報(D):

振込先	金額範囲	電	信	文	書
同行同支店	30,000 円未満	0 円		0 円	
	30,000 円以上	0 円		0 円	
同行他支店	30,000 円未満	0 円		0 円	
	30,000 円以上	0 円		0 円	
他行	30,000 円未満	0 円		0 円	
	30,000 円以上	0 円		0 円	

手数料グループを使用する

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12

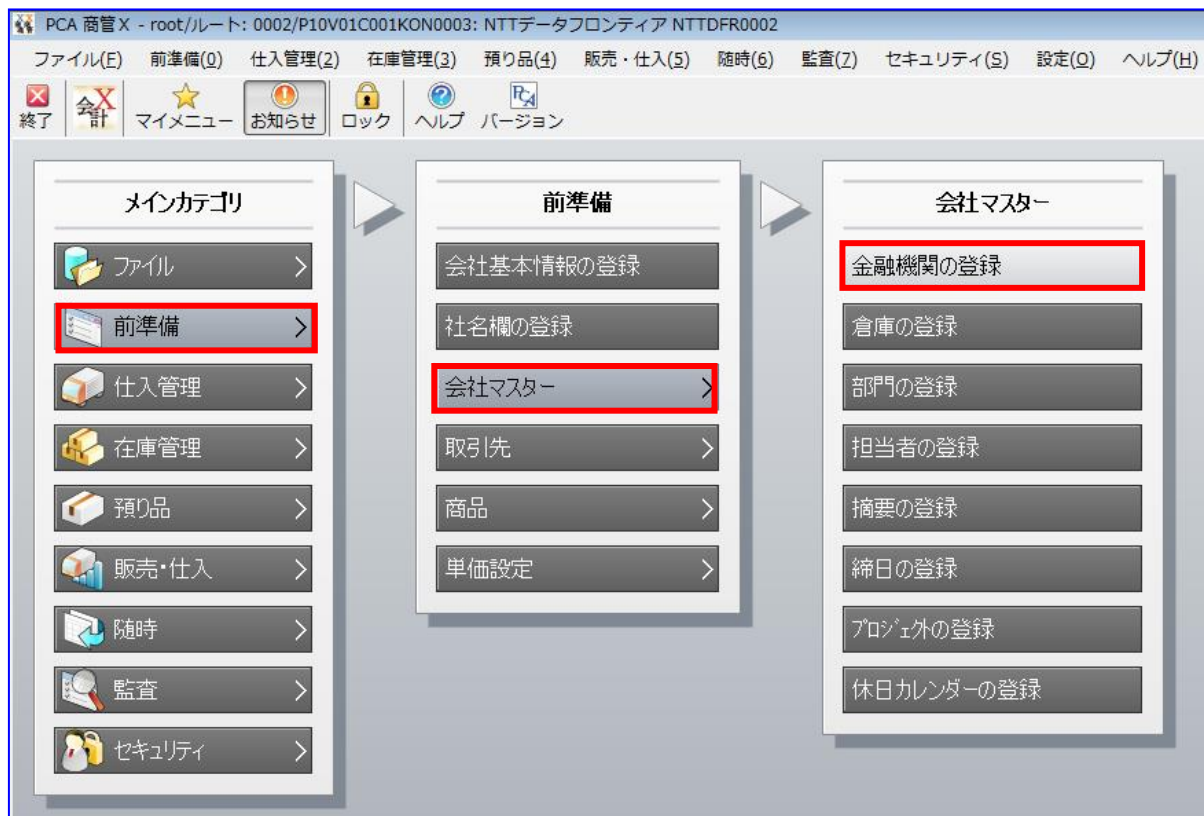


委託番号とは、総合振込や給与振込サービスを利用する際に、会社口座を管理する金融機関が振込依頼人を識別するのに使用される番号です。これらのサービスを利用するには、前もって金融機関に委託番号を割り当ててもらう必要があります。

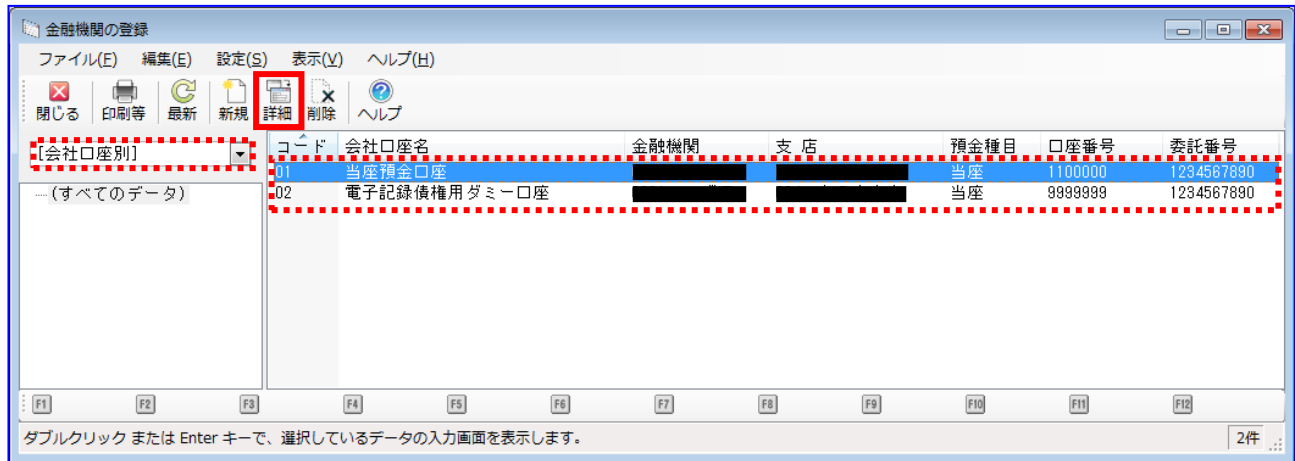
2.1.2 会社口座を確認する②

連携で使用する会社口座が登録されているか確認します。

✚ [前準備] > [会社マスター] > [金融機関の登録]を押下します。



- プルダウンで会社口座別を選択し、登録されている会社口座を選択し、[詳細]を押下します。
会社コードが存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。
(新規作成方法については「PCA 商管」のヘルプをご参照ください。)



金融機関情報、会社口座情報が入力されていることを確認します。

金融機関の登録

電子記録債権、銀行振込の決済口座

参照

基本情報(A):

コード 01
会社口座名 当座預金口座

金融機関情報(B):

金融機関コード []
金融機関名 []
金融機関名フリガナ []
店番号 []
支店名 []
支店名フリガナ []

会社口座情報(C):

預金種目 2:当座
口座番号 1100000
委託番号 1234567890
委託者名 委託者名
委託者名フリガナ イクサメイ
区切り文字 0:CR・LF付

手数料情報(D):

振込先	金額範囲	電	信	文	書
同行同支店	30,000 円未満	0 円		0 円	
	30,000 円以上	0 円		0 円	
同行他支店	30,000 円未満	0 円		0 円	
	30,000 円以上	0 円		0 円	
他行	30,000 円未満	0 円		0 円	
	30,000 円以上	0 円		0 円	

手数料グループを使用する

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12



委託番号とは、総合振込や給与振込サービスを利用する際に、会社口座を管理する金融機関が振込依頼人を識別するのに使用される番号です。これらのサービスを利用するには、前もって金融機関に委託番号を割り当ててもらう必要があります。

金融機関情報、会社口座情報が入力されていることを確認します。

金融機関の登録

本ソフトとの連携に使用するダミー口座

参照

基本情報(A):

コード 02
会社口座名 電子記録債権用ダミー口座

金融機関情報(B):

金融機関コード []
金融機関名 []
金融機関名フリガナ []
店番号 []
支店名 []
支店名フリガナ []

会社口座情報(C):

預金種目 2:当座
口座番号 9999999
委託番号 1234567890
委託者名 委託者名
委託者名フリガナ イクサメイ
区切り文字 0:CR・LF付

手数料情報(D):

振込先	金額範囲		電	信	文	書
			円	円	円	円
同行同支店	30,000 円未満		0	0	0	0
	30,000 円以上		0	0	0	0
同行他支店	30,000 円未満		0	0	0	0
	30,000 円以上		0	0	0	0
他行	30,000 円未満		0	0	0	0
	30,000 円以上		0	0	0	0

手数料グループを使用する

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12

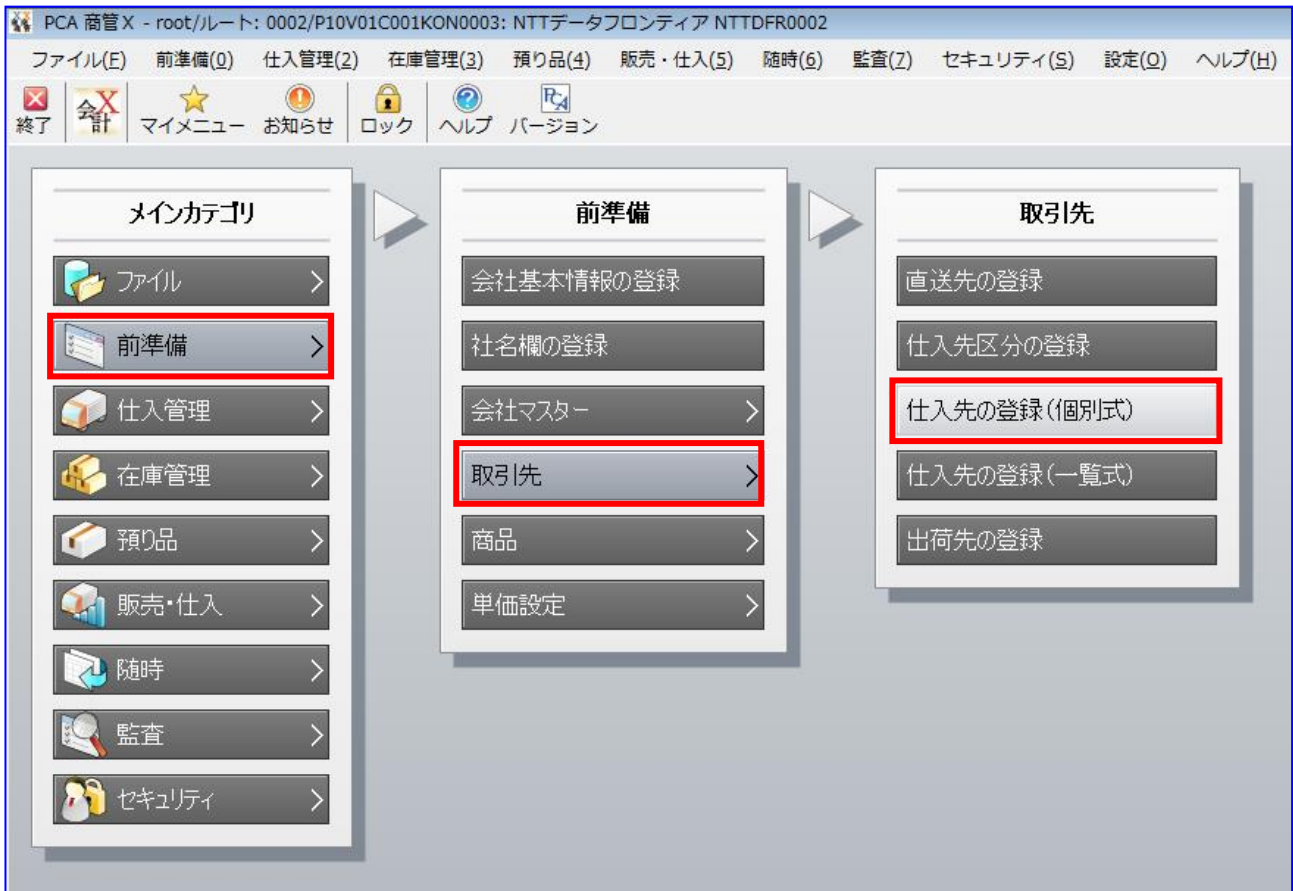


ダミー口座とは、本ソフトとの連携に使用するための口座です。
ダミー口座は決済には利用しません。
登録の際は架空の口座番号を設定してください。

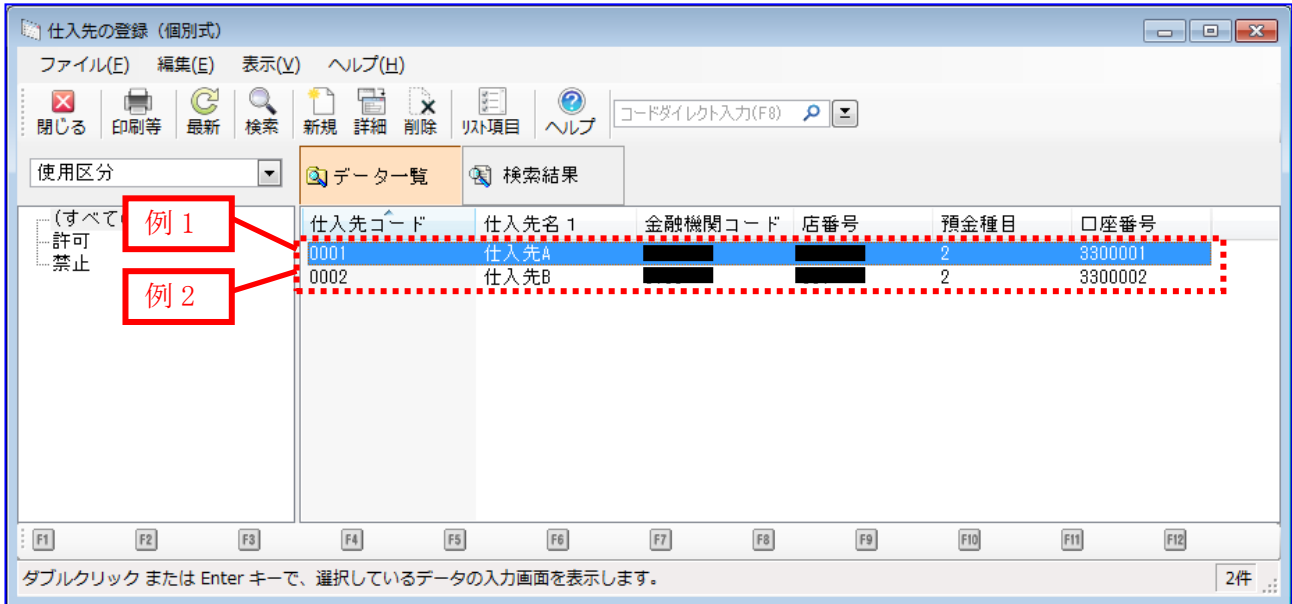
2.1.3 仕入先を確認する

連携で使用する仕入先が登録されているか確認します。

✚ [前準備] > [取引先] > [仕入先の登録(個別式)]を押下します。



- 仕入先が存在することを確認します。
仕入先が存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。（下記例 1~2 を参照）
（新規作成方法については「PCA 商管」のヘルプをご参照ください。）



例 1：「仕入先 A」 の設定例

No	項目	説明
1	仕入先コード	任意のコードを入力します。
2	仕入先名 1	仕入先名を入力します。
3	振込口座情報	仕入先の口座情報を入力します。



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。



電子記録債権で支払う仕入先や、振込で支払う仕入先など、すべての仕入先を登録します。支払方法による登録内容の違いはありません。

例 2：「仕入先 B」の設定例

No	項目	説明
1	仕入先コード	任意のコードを入力します。
2	仕入先名 1	仕入先名を入力します。
3	振込口座情報	仕入先の口座情報を入力します。



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。

2.2 本ソフトの事前設定

連携事前設定を行うための本ソフトの事前設定方法を説明します。

作手順

① 支払先企業すべてに電子記録債権で決済

2.2.1
取引先を
設定する①

2.2.3
社内口座を
設定する①

②-1 支払先企業ごとに電子記録債権と振込で決済

②-2 同一の支払先企業に電子記録債権と振込で決済

2.2.2
取引先を
設定する②

2.2.4
社内口座を
設定する②

操作方法

2.2.1 取引先を設定する①

- 本ソフトの取引先管理画面を開き、「2.1.3 仕入先を確認する」で登録した仕入先情報が登録されていることを確認します。登録されていない場合は新規に登録します。

	利用者番号*	取引先名*	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*	
▶ 1	111111111	仕入先A	[blacked out]	[blacked out]	2: 当座	3300001	001
2	222222222	仕入先B	[blacked out]	[blacked out]	2: 当座	3300002	000

- ✚ 口座情報に仕入先の口座情報を登録します。

PCA商管
仕入先の登録画面

「2.1.3 仕入先を確認する」で確認した仕入先

電子記録債権で支払う仕入先

参照 (0001)仕入先A

仕入先コード 0001
仕入先名1 仕入先A
仕入先名2
会社敬称 様 加索引

使用区分 0:許可

基本 先方担当者 仕入 支払 振込 コメント

仕入先名か	シバサト
金融機関コード	XXXXXXXXXX
店番号	XXXXXXXXXX
預金種目	2:当座
口座番号	3300001
手数料負担	0:当方負担
手数料区分	3:自動判定
定額料金	
送金方法	0:電信

電子記録債権で支払う仕入先

参照 (0002)仕入先B

仕入先コード 0002
仕入先名1 仕入先B
仕入先名2
会社敬称 様 加索引

使用区分 0:許可

基本 先方担当者 仕入 支払 振込 コメント

仕入先名か	シバサト
金融機関コード	XXXXXXXXXX
店番号	XXXXXXXXXX
預金種目	2:当座
口座番号	3300002
手数料負担	0:当方負担
手数料区分	3:自動判定
定額料金	0
送金方法	0:電信

一括請求Assist
(取引先管理画面)

取引先管理
CSV読込 CSV出力

取引先情報	利用者番号*	取引先名*	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号
▶ 1	111111111	仕入先A	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	2:当座	3300001
▶ 2	222222222	仕入先B	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	2:当座	3300002

電子記録債権で支払う仕入先を全て登録する

行ジャンプ
[] []

検索
[] []

エラージャンプ
次のエラー

*必須項目
戻る
更新

本ソフトへの登録時には、コピー&ペーストをするなどし、「PCA 商管」の設定値と完全に一致させてください。

21

2.2.2 取引先を設定する②

- 本ソフトの取引先管理画面を開き、「2.1.3 仕入先を確認する」で登録した仕入先情報が登録されていることを確認します。登録されていない場合は新規に登録します。

	利用者番号*	取引先名*	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
▶	1	111111111	仕入先 A		2: 当座	3300001

- 口座情報に仕入先の口座情報を登録します。

PCA商管
仕入先の登録画面

「2.1.3 仕入先を確認する」で確認した仕入先

電子記録債権で支払う仕入先

仕入先の登録 (個別式)

参照 (0001)仕入先A

仕入先コード 0001
仕入先名1 仕入先A
仕入先名2
会社敬称 様 加索引

使用区分 0:許可

基本 先方担当者 仕入 支払 振込 コメント

仕入先名か シルバ社
金融機関コード
店番号
預金種目 2:当座
口座番号 3300001
手数料負担 0:当方負担
手数料区分 3:自動判定
定額料金
送金方法 0:電信

振込で支払う仕入先

ヘルプ(H)

参照 (0002)仕入先B

仕入先コード 0002
仕入先名1 仕入先B
仕入先名2
会社敬称 様 加索引

使用区分 0:許可

基本 先方担当者 仕入 支払 振込 コメント

仕入先名か シルバ社
金融機関コード
店番号
預金種目 2:当座
口座番号 3300002
手数料負担 0:当方負担
手数料区分 3:自動判定
定額料金
送金方法 0:電信

一括請求Assist
(取引先管理画面)

取引先管理

CSV読込 CSV出力

取引先情報	利用者番号*	取引先名*	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
1	111111111	仕入先A			2:当座	3300001

電子記録債権で支払う仕入先を全て登録する
振込で支払う仕入先の登録は不要です

行ジャンプ 検索 エラージャンプ

戻る 更新



本ソフトへの登録時には、コピー&ペーストをするなどし、「PCA 商管」の設定値と完全に一致させてください。

2.2.3 社内口座を設定する①

- 本ソフトの社内口座管理画面を開き、社内口座情報が登録されていることを確認します。登録されていない場合は新規に登録します。

	利用者名(検索用)*	利用者名カナ*	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
▶ 1	NTTデータフロンティア	NTTデータフロンティア	■■■■■	■■■■■	2: 当座	1100000

- 口座情報に会社口座情報を登録します。

PCA商管
金融機関の登録画面

「2.1.1 会社口座を確認する①」で確認した会社口座

電子記録債権、振込の決済口座

金融機関の登録

基本情報(A):

コード: 01
会社口座名: 当座預金口座

金融機関情報(B):

金融機関コード: [REDACTED]
金融機関名: [REDACTED]
金融機関名フリガナ: [REDACTED]
店番号: [REDACTED]
支店名: [REDACTED]
支店名フリガナ: [REDACTED]

会社口座情報(C):

預金種目: 2:当座
口座番号: 1100000

一括請求Assist
(社内口座管理画面)

電子記録債権、振込の決済口座を登録す

社内口座管理

CSV読込 CSV出力

社内口座情報

利用者名(検索用)*	利用者名が	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
1	NTTデータフロンティア	NTTフ	カガ	2:当座	1100000

行ジャンプ 検索 エラージャンプ

*必須項目 戻る 更新



本ソフトへの登録時には、コピー&ペーストをするなどし、「PCA 商管」の設定値と完全に一致させてください。

2.2.4 社内口座を設定する②

- 本ソフトの社内口座管理画面を開き、社内口座情報が登録されていることを確認します。登録されていない場合は新規に登録します。

	利用者名(検索用)*	利用者名か*	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
1	NTTデータフロンティア	NTTデータフロンティア			2:当座	1100000
2	ダミー口座	ダミー口座			2:当座	9999999

- 口座情報に会社口座情報を登録します。

PCA商管
金融機関の登録画面

「2.1.2 会社口座を確認する②」で確認した会社口座

電子記録債権、振込の決済口座

参照

基本情報(A):

コード: 01
会社口座名: 当座預金口座

金融機関情報(B):

金融機関コード: []
金融機関名: []
金融機関名フカナ: []
店番号: []
支店名: []
支店名フカナ: []

会社口座情報(C):

預金種目: 2:当座
口座番号: 1100000

一括請求Assistとの連携に使用する
ダミー口座

基本情報(A):

コード: 02
会社口座名: 電子記録債権用ダミー口座

金融機関情報(B):

金融機関コード: []
金融機関名: []
金融機関名フカナ: []
店番号: []
支店名: []
支店名フカナ: []

会社口座情報(C):

預金種目: 2:当座
口座番号: 9999999

一括請求Assist
(社内口座管理画面)

社内口座管理

CSV読込 CSV出力

社内口座情報

利用者名(検索用)*	利用者名(入力)*	金融機関コード*	支店コード*	口座番号*
1	NTTデータフロンティア	NTTデータフロンティア	[]	1100000
2	ダミー口座	ダミー口座	[]	9999999

決済口座、ダミー口座の両方を登録する

行ジャンプ [] 検索 [] エラージャンプ [] 次のエラー []

*必須項目 戻る [] 更新 []

本ソフトへの登録時には、コピー&ペーストをするなどし、「PCA商管」の設定値と完全に一致させてください。

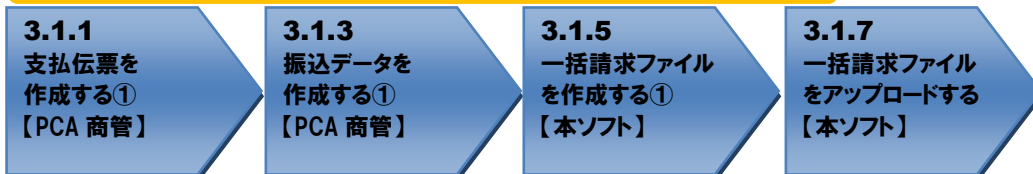
3 連携手順

3.1 連携手順

「PCA 商管」と本ソフトの連携手順を説明します。

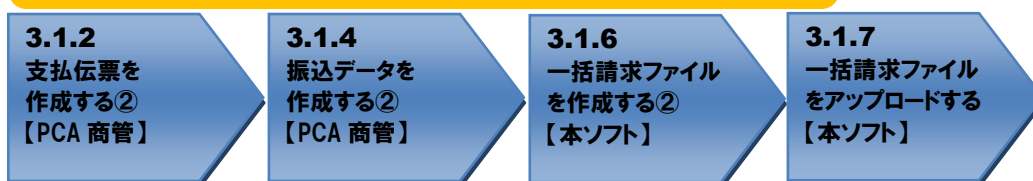
操作手順

① 支払先企業すべてに電子記録債権で決済



②-1 支払先企業ごとに電子記録債権と振込で決済

②-2 同一の支払先企業に電子記録債権と振込で決済



操作方法

3.1.1 支払伝票を作成する①

支払伝票を作成します。

- 「PCA 商管」を開き、[仕入管理]>[支払]>[支払伝票入力（伝票式）]を押下します。



✚ 支払伝票を作成します。

支払先 A 向け
電子記録債権で支払う支払伝票

仕入先A

TEL : FAX :

仕入 0 **1** 支払日 2014年 6月 23日 **2** 支払先 0001

摘要 プロジェ外

会社口座コ **3** 01 当座預金口座

対象精算日

精算日	支払予定日	期間仕入高	支払額	未払残高(A)
繰越金額		0		
未精算		0	100,000	-100,000
合計		0	100,000	-100,000

種別	支払金額
現金	
小切手	
4 振込	100,000
その他	
手形	
相殺	
値引	
合計(B)	100,000

手形期日

手形番号

支払先 B 向け
電子記録債権で支払う支払伝票

仕入先B

TEL : FAX :

仕入 0 **1** 支払日 2014年 6月 23日 **2** 支払先 0002

摘要 プロジェ外

会社口座コ **3** 01 当座預金口座

対象精算日

精算日	支払予定日	期間仕入高	支払額	未払残高(A)
繰越金額		0		
未精算		0	200,000	-200,000
合計		0	200,000	-200,000

種別	支払金額
現金	
小切手	
4 振込	200,000
その他	
手形	
相殺	
値引	
合計(B)	200,000

手形期日

手形番号

No	項目	説明
1	支払日	支払日を入力します。
2	支払先	支払先コードを入力します。
3	会社口座コード	「2.1.1 会社口座を確認する①」 で確認した会社口座のコードを入力します。
4	支払金額（振込）	支払金額を入力します。



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。



支払伝票入力画面で入力した支払日、支払先（支払先口座情報）、会社口座コード（会社口座情報）、金額は本ソフトの発生記録（債務者請求）作成画面に連携されます。

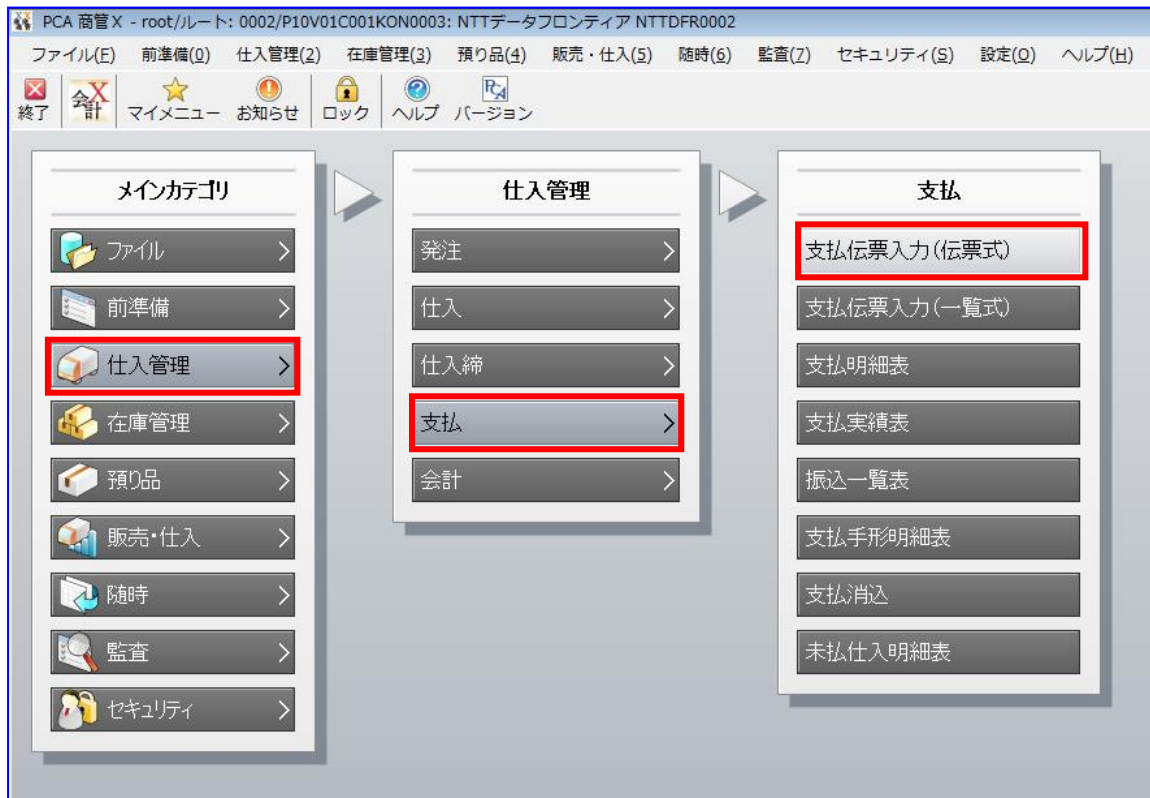


支払日には本日以降、1ヶ月以内の日付を入力してください。

3.1.2 支払伝票を作成する②

支払伝票を作成します。

- 「PCA 商管」を開き、[仕入管理]>[支払]>[支払伝票入力（伝票式）]を押下します。



✚ 支払伝票を作成します。

支払伝票入力 (伝票式)

電子記録債権で支払う支払伝票

参照

仕入先A

TEL : FAX :

仕入 1 支払日 2014年 6月 23日 伝 2 支払先 10001

摘要 プロパ外

会社口座コード 02 電子記録債権用ダミー口座

対象精算日 3

精算日	支払予定日	期間仕入高	支払額	未払残高(A)
繰越金額		0		
未精算		0	100,000	-100,000
合計		0	100,000	-100,000

種別	支払金額
現金	
小切手	
振込 4	100,000
その他	
手形	
相殺	
値引	
合計(B)	100,000

手形期日

手形番号

支払伝票入力 (伝票式)

振込で支払う支払伝票

参照

仕入先B

TEL : FAX :

仕入 5 支払日 2014年 6月 23日 伝 6 支払先 0002

摘要 プロパ外

会社口座コード 01 当座預金口座

対象精算日 7

精算日	支払予定日	期間仕入高	支払額	未払残高(A)
繰越金額		0		
未精算		0	200,000	-200,000
合計		0	200,000	-200,000

種別	支払金額
現金	
小切手	
振込 8	200,000
その他	
手形	
相殺	
値引	
合計(B)	200,000

手形期日

手形番号

No	項目	説明
電子記録債権で支払う支払伝票		
1	支払日	支払日を入力します。
2	支払先	支払先コードを入力します。
3	会社口座コード	「 2.1.2 会社口座を確認する② 」で確認した 本ソフトとの連携に使用するダミー口座のコード を入力します。
4	支払金額（振込）	支払金額を入力します。
振込で支払う支払伝票		
5	支払日	支払日を入力します。
6	支払先	支払先コードを入力します。
7	会社口座コード	「 2.1.2 会社口座を確認する② 」で確認した 電子記録債権、銀行振込の決済口座のコード を入力します。
8	支払金額（振込）	支払金額を入力します。



表に記載のない項目は本ソフトとの連携を行う上で必須ではありませんが、入力が可能です。



電子記録債権で支払う支払伝票について、支払伝票入力画面で入力した支払日、支払先（支払先口座情報）、会社口座コード（会社口座情報）、金額は本ソフトの発生記録（債務者請求）作成画面に連携されます。



支払日には本日以降、1ヶ月以内の日付を入力してください。

3.1.3 振込データを作成する①

本ソフトと連携するための振込データを作成します。

✚ [仕入管理] > [支払] > [振込一覧表]を押下します。



✚ 条件を入力し、[実行]を押下します。

条件指示

出力の種類
 画面(W) 印刷等(B) **1** FD用集計(E)

出力様式(A) 用紙(B)
 振込一覧表 総合振込依頼書 連続紙 単票

作成条件(Q)
2 振込日 2014年 6月 23日
3 会社口座 01 当座預金口座
4 マスターの会社口座も参照する
❗ 会社口座未入力の支払伝票は仕入先マスターも参照して会社口座を判定します。

出力順(D)
 会社口座別・振込金融機関順 会社口座別・支払先コード順

出力用途(E)
 総合振込依頼書チェック用 総合振込データチェック用 振込一覧表(チェックなし)

出力項目(G)
 振込手数料

電子記録債権で支払う支払伝票の振込データを作成 実行(F5)... 閉じる ヘルプ(F1)

No	項目	説明
1	出力の種類	「FD用集計」を選択します。
2	振込日	「3.1.1 支払伝票を作成する①」で入力した支払日を入力します。 本ソフトの「発生記録(予定)日」に連携される項目です。
3	会社口座	「3.1.1 支払伝票を作成する①」で入力した会社口座コードを入力します。
4	マスタ参照	チェックを外します。



「3.1.1 支払伝票を作成する①」で複数の支払日で支払伝票を作成した場合、「3.1.3 振込データを作成する①」を繰り返し実施し、振込データを支払日分作成してください。

- 条件を入力し、[実行]を押下します。

総合振込データの作成

選択中の会社口座

金融機関	■■■■■
支店	■■■■■
委託番号	1234567890
預金種目	当座
口座番号	1100000
区切り文字	CR・LF付

出力設定

出力指定 (O) 総合振込データの作成 PCA電子通帳と連動 EBNext2DXと連動

出力先パス (P) C:\AssistUser\MyDocuments\PackageAssist\振込データ作成.txt


実行(F5) キャンセル

260文字未満で入力します。ファイルのドロップでパスを自動入力できます。

No	項目	説明
1	出力指定	「総合振込データの作成」を選択します。
2	出力先パス	任意の出力先を入力します

- 振込データの作成が完了すると、下記ダイアログが表示されます。
[OK]を押下し、出力ファイルパスに振込データが存在することを確認します。

総合振込データの作成

 総合振込データの作成に成功しました。

OK



上記で作成した支払先 A と支払先 B のデータが含まれた振込データは、「**3.1.5 一括請求ファイルを作成する**」で本ソフトに読み込み、一括請求ファイルを作成します。

3.1.4 振込データを作成する②

本ソフトと連携するための振込データを作成します。

✚ [仕入管理] > [支払] > [振込一覧表]を押下します。



条件を入力し、[実行]を押下します。

条件指示

出力の種類
 画面(W) 印刷等(P) **FD用集計(E)**

出力様式(A) 用紙(B)
 振込一覧表 総合振込依頼書 連続紙 単票

作成条件(C)
振込日 2014年 6月 23日

会社口座 02 電子記録債権用ダミー口座

マスターの会社口座も参照する

会社口座未入力の支払伝票は仕入先マスターも参照して会社口座を判定します。


出力順(D)
 会社口座別・振込金融機関順 会社口座別・支払先コード順

出力用途(E)
 総合振込依頼書チェック用 総合振込データチェック用 振込一覧表(チェックなし)

出力項目(G)
 振込手数料

電子記録債権で支払う支払伝票の振込データを作成 **実行(F5)...** 閉じる ヘルプ(F1)

No	項目	説明
1	出力の種類	「FD用集計」を選択します。
2	振込日	「3.1.2 支払伝票を作成する②」で入力した支払日を入力します。 本ソフトの「発生記録(予定)日」に連携される項目です。
3	会社口座	「3.1.2 支払伝票を作成する②」で入力した本ソフトとの連携に使用するダミー口座のコードを入力します。
4	マスタ参照	チェックを外します。

 「3.1.2 支払伝票を作成する②」で複数の支払日で支払伝票を作成した場合、「3.1.4 振込データを作成する②」を繰り返し実施し、振込データを支払日分作成してください。

- 条件を入力し、[実行]を押下します。

総合振込データの作成

選択中の会社口座

金融機関	■■■■■
支店	■■■■■
委託番号	1234567890
預金種目	当座
口座番号	9999999
区切り文字	CR・LF付

出力設定

出力指定 (O) 総合振込データの作成 PCA電子通帳と連動 EBNext2DXと連動

出力先パス (P) stUser\MyDocuments\PackageAssist\振込データ作成 (電子記録債権で支払) .txt

実行(F5) キャンセル

260文字未満で入力します。ファイルのドロップでパスを自動入力できます。

No	項目	説明
1	出力指定	「総合振込データの作成」を選択します。
2	出力先パス	任意の出力先を入力します。

- 振込データの作成が完了すると、下記ダイアログが表示されます。
[OK]を押下し、出力ファイルパスに振込データが存在することを確認します。

総合振込データの作成

総合振込データの作成に成功しました。

OK



上記で作成した支払先 A のデータが含まれた振込データは、「**3.1.5 一括請求ファイルを作成する**」で本ソフトに読み込み、一括請求ファイルを作成します。

✚ 条件を入力し、[実行]を押下します。

No	項目	説明
1	出力の種類	「FD用集計」を選択します。
2	振込日	「3.1.2 支払伝票を作成する②」で入力した支払日を入力します。 本ソフトの「発生記録(予定)日」に連携される項目です。
3	会社口座	「3.1.2 支払伝票を作成する②」で入力した電子記録債権、銀行振込の決済口座のコードを入力します。
4	マスタ参照	チェックを外します。



「3.1.2 支払伝票を作成する②」で複数の支払日で支払伝票を作成した場合、「3.1.3 振込データを作成する②」を繰り返し実施し、振込データを支払日分作成してください。

- 条件を入力し、[実行]を押下します。

No	項目	説明
1	出力指定	「総合振込データの作成」を選択します。
2	出力先パス	任意の出力先を入力します。（ファイル名の重複に注意してください）

- 振込データの作成が完了すると、下記ダイアログが表示されます。
[OK]を押下し、出力ファイルパスに振込データが存在することを確認します。



上記で作成した支払先 B のデータが含まれた振込データは、EB ソフト等に読み込み、振込を実施してください。

3.1.5 一括請求ファイルを作成する①

「3.1.3 振込データを作成する①」で作成した振込データを本ソフトで読み込み、一括請求ファイルを作成します。

本ソフトの発生記録（債務者）請求作成画面を開き、[総合振込データ読み込]を押下します。

発生記録（債務者）請求作成

一括請求ファイル読み込 CSV読み込 **総合振込データ読み込** 対象ファイル

発生記録(予定)日* 2019/10/07

債務者(請求者)情報

呼出	利用者番号*	債務者名カ	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
AAAAA						

債権者(取引先)情報/債権情報

	詳細	読込 No	債権者利用者番号*	債権者名**	債権者金融機関コード*	債権者支店コード*	債権者口座種別*	債権者口座番号
▶ 1	詳細							

行ジャンプ 検索 エラージャンプ

合計件数(件) 1
合計金額(円) 0

*必須項目 **一括請求ファイル出力対象外項目

戻る 一括請求ファイル作成

条件を入力し、[読込実行]を押下します。

総合振込データ読込
×

債務者(請求者)情報

総合振込データの支払口座情報を条件に下記情報が自動設定されます。未登録の場合は、空白で設定されます。

利用者番号 システム設定もしくは社内口座管理より自動設定されます。

債務者名 社内口座管理より自動設定されます。

債権者(取引先)情報

総合振込データの振込先口座情報を条件に下記情報が自動設定されます。未登録の場合は、空白で設定されます。

利用者番号 取引先管理より自動設定されます。

債権者名 取引先管理より自動設定されます。

発生記録(予定)日/支払期日

総合振込データの取組日(振込指定日)の割り当て先を設定してください。

1 発生記録(予定)日 支払期日

支払期日を設定してください。(全ての請求情報に同一の値が設定されます。)

支払期日 2 2019/11/01

譲渡制限有無

譲渡制限有無を設定してください。(全ての請求情報に同一の値が設定されます。)

譲渡制限有無 3 0:無

総合振込データ

対象ファイル 4 C:\Users\assist-user\Documents\PackageAssist\振込データ.txt 参照

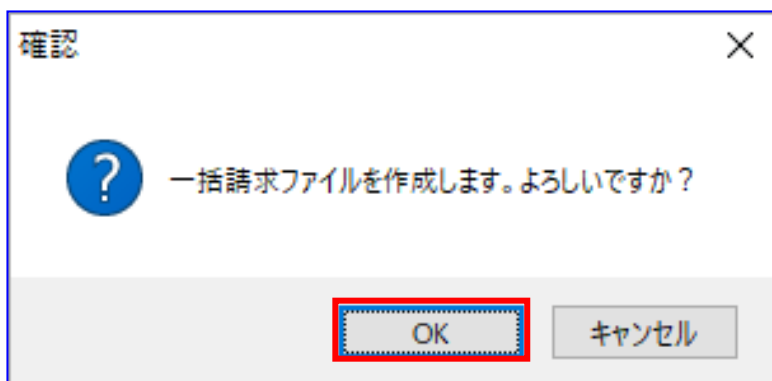
閉じる
読込実行

No	項目	説明
1	取組日(振込指定日)の割り当て先	「発生記録(予定)日」を選択します。
2	支払期日	電子記録債権の支払期日を入力します。
3	譲渡制限有無	電子記録債権の譲渡制限有無を選択します。
4	対象ファイル	作成した振込データを選択します。

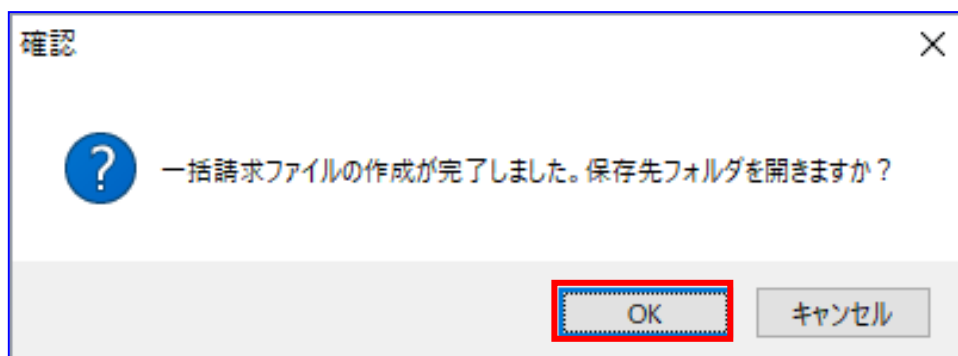
表示された内容を確認し、[一括請求ファイル作成]を押下します。

No	項目	説明
1	発生記録 (予定) 日	「3.1.1 支払伝票を作成する①」で入力した支払日が設定されます。
2	債務者 (請求者) 情報	「3.1.1 支払伝票を作成する①」で入力した会社コードに対応する情報が設定されます。
3	債権者情報	「3.1.1 支払伝票を作成する①」で入力した支払先に対応する情報が設定されます。
4	債権金額 (円)	「3.1.1 支払伝票を作成する①」で入力した支払金額 (振込) が設定されます。
5	支払期日	総合振込データ読込画面で入力した支払期日が設定されます。
6	譲渡制限有無	総合振込データ読込画面で入力した譲渡制限有無が設定されます。

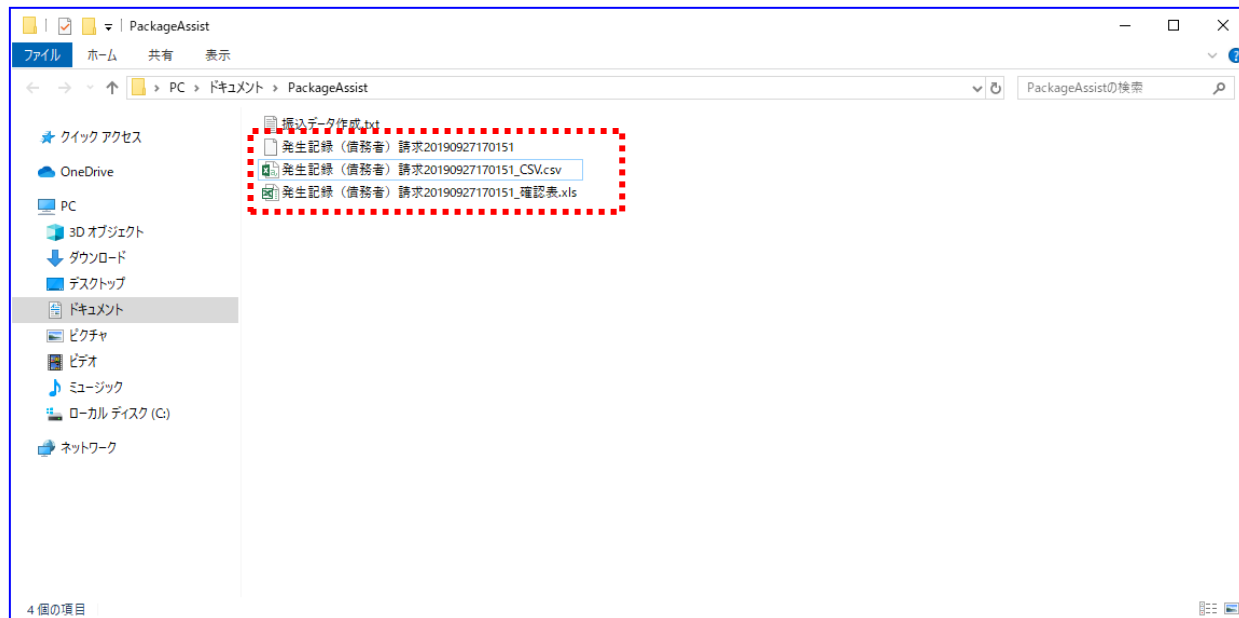
-
- ✚ 下記ダイアログの[OK]を押下します。



- ✚ 下記ダイアログの[OK]を押下します。



- ✚ 保存先フォルダが表示されますので、一括請求ファイル、一括請求確認表が作成されていることを確認します。
(CSV ファイルは、システム設定画面にて「出力 CSV 設定」の「一括請求ファイル」を「出力する」に設定している場合のみ出力されます。)



一括請求ファイルの作成時に出力されるファイルは下記の通りです。



一括請求ファイル : 発生記録 (債務者) 請求 YYYYMMDDhhmmss※
CSV ファイル : 発生記録 (債務者) 請求 YYYYMMDDhhmmss_CSV.csv
一括請求確認表 : 発生記録 (債務者) 請求 YYYYMMDDhhmmss_確認表.xls

※システム設定画面「共通設定情報」の「一括請求ファイル拡張子」にて「付与する」を選択した場合、設定した拡張子が付与されます。



「**3.1.3 振込データを作成する①**」で複数の振込データを作成した場合、
「**3.1.5 一括請求ファイルを作成する①**」を繰り返し実施してください。

3.1.6 一括請求ファイルを作成する②

「3.1.4 振込データを作成する②」で作成した振込データを本ソフトで読み込み、一括請求ファイルを作成します。

- 本ソフトの発生記録（債務者）請求作成画面を開き、[総合振込データ読込]を押下します。

発生記録（債務者）請求作成

一括請求ファイル読込 CSV読込 **総合振込データ読込** 対象ファイル

発生記録(予定)日* 2019/10/07

債務者(請求者)情報

呼出	利用者番号*	債務者名か	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
AAAAAAA						

債権者(取引先)情報/債権情報

	詳細	読込No	債権者利用者番号*	債権者名**	債権者金融機関コード*	債権者支店コード*	債権者口座種別*	債権者口座番号
▶ 1	詳細							

行ジャンプ 検索 エラージャンプ

合計件数(件) 1
合計金額(円) 0

*必須項目 **一括請求ファイル出力対象外項目

戻る 一括請求ファイル作成

- 条件を入力し、[読込実行]を押下します。

総合振込データ読込
×

債務者(請求者)情報

総合振込データの支払口座情報を条件に下記情報が自動設定されます。未登録の場合は、空白で設定されます。

利用者番号 システム設定もしくは社内口座管理より自動設定されます。

債務者名 社内口座管理より自動設定されます。

債権者(取引先)情報

総合振込データの振込先口座情報を条件に下記情報が自動設定されます。未登録の場合は、空白で設定されます。

利用者番号 取引先管理より自動設定されます。

債権者名 取引先管理より自動設定されます。

発生記録(予定)日/支払期日

総合振込データの取組日(振込指定日)の割り当て先を設定してください。

1 発生記録(予定)日 支払期日

支払期日を設定してください。(全ての請求情報に同一の値が設定されます。)

支払期日 2 2019/11/01

譲渡制限有無

譲渡制限有無を設定してください。(全ての請求情報に同一の値が設定されます。)

譲渡制限有無 3 0:無

総合振込データ

対象ファイル 4 C:\Users\%assist-user%\Documents\PackageAssist\振込データ.txt 参照

閉じる
読込実行

No	項目	説明
1	取組日(振込指定日)の割り当て先	「発生記録(予定)日」を選択します。
2	支払期日	電子記録債権の支払期日を入力します。
3	譲渡制限有無	電子記録債権の譲渡制限有無を選択します。
4	対象ファイル	作成した振込データを選択します。

- 0 ダミー口座が表示されていることを確認し、[呼出]を押下します。

発生記録 (債務者) 請求作成

一括請求ファイル読込 CSV読込 総合振込データ読込 対象ファイル 振込データ.txt

発生記録(予定)日* 2019/10/30

ダミー口座

債務者(請求者)情報

呼出	利用者番号*	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
	AAAAAAAAA	ダミー-コサ		2:当座	9999999

債権者(取引先)情報/債権情報

詳細	読込 No	債権者 利用者番号*	債権者名**	債権者 金融機関コード*	債権者 支店コード*	債権者 口座種別*	債権者 口座番号
▶ 1	詳細	1 111111111	仕入先A			2:当座	3300001

電子記録債権で支払う支払伝票の振込データ

行ジャンプ 検索 エラージャンプ

合計件数(件) 1
合計金額(円) 1,000,000,002

*必須項目 **一括請求ファイル出力対象外項目

戻る 一括請求ファイル作成

- 電子記録債権、銀行振込の決済口座を選択し、[選択]を押下します。

社内口座選択

検索条件

利用者名(検索用)	
利用者名カナ	
金融機関コード	
支店コード	
口座種別	
口座番号	
社内口座ID	

電子記録債権、銀行振込の決済口座

検索 検索条件クリア

社内口座情報

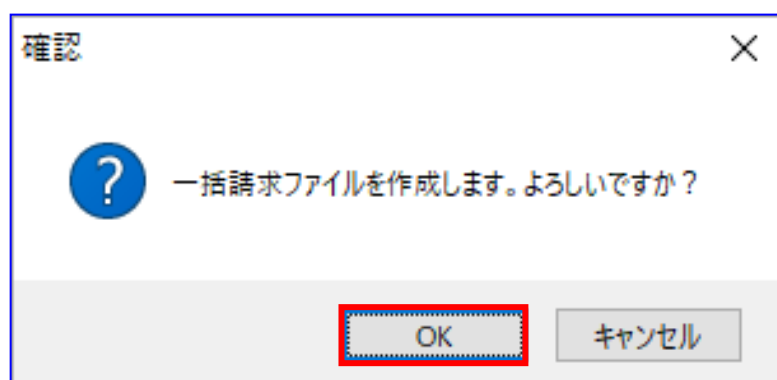
選択	利用者名(検索用)	利用者名カナ	金融機関コード	支店コード	口座種別	口座番号
選択	NTTデータフロンティア	NTTデータフロンティア			2:当座	1100000
選択	ダミー口座	ダミーコサ			2:当座	9999999

閉じる

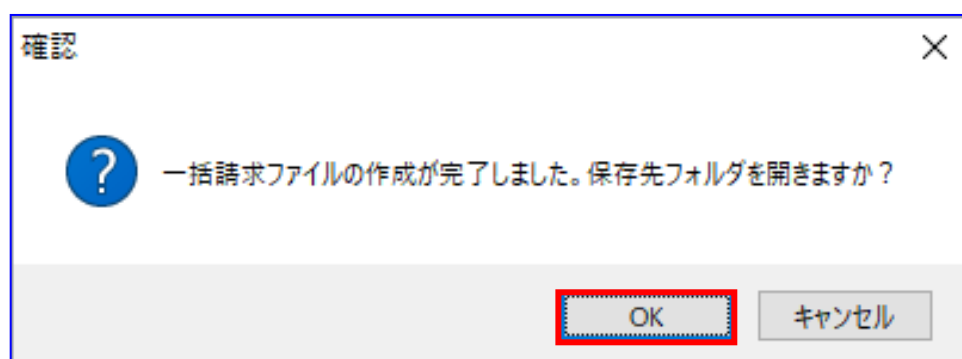
表示された内容を確認し、[一括請求ファイル作成]を押下します。

No	項目	説明
1	発生記録 (予定) 日	「3.1.2 支払伝票を作成する②」で入力した支払日が設定されます。
2	債務者 (請求者) 情報	社内口座選択画面で選択した口座情報が設定されます。
3	債権者情報	「3.1.2 支払伝票を作成する②」で入力した支払先に対応する情報が設定されます。
4	債権金額 (円)	「3.1.2 支払伝票を作成する②」で入力した支払金額 (振込) が設定されます。
5	支払期日	総合振込データ読込画面で入力した支払期日が設定されます。
6	譲渡制限有無	総合振込データ読込画面で入力した譲渡制限有無が設定されます。

✚ 下記ダイアログの[OK]を押下します。

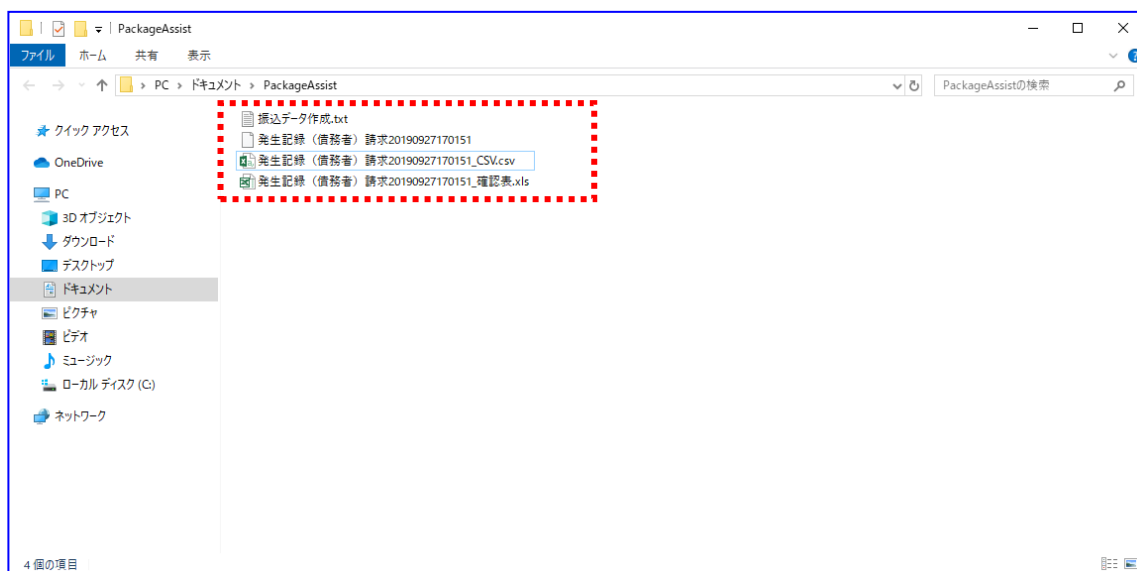


✚ 下記ダイアログの[OK]を押下します。



- 保存先フォルダが表示されますので、一括請求ファイル、一括請求確認表が作成されていることを確認します。

(CSV ファイルは、システム設定画面にて「出力 CSV 設定」の「一括請求ファイル」を「出力する」に設定している場合のみ出力されます。)



一括請求ファイルの作成時に出力されるファイルは下記の通りです。



- 一括請求ファイル : 発生記録 (債務者) 請求 YYYYMMDDhhmmss※
- CSV ファイル : 発生記録 (債務者) 請求 YYYYMMDDhhmmss_CSV.csv
- 一括請求確認表 : 発生記録 (債務者) 請求 YYYYMMDDhhmmss_確認表.xls

※システム設定画面「共通設定情報」の「一括請求ファイル拡張子」にて「付与する」を選択した場合、設定した拡張子が付与されます。



「**3.1.4 振込データを作成する②**」で複数の振込データを作成した場合、「**3.1.6 一括請求ファイルを作成する②**」を繰り返し実施してください。

3.1.7 一括請求ファイルをアップロードする

- 出力された一括請求確認表を確認し、想定した請求内容になっていることをご確認ください。
(一括請求確認表の詳細は、基本操作編「**6.2.2 発生記録(債務者)請求確認表**」、
「**6.2.3 発生記録(債権者)請求確認表**」をご参照ください。)

請求内容に誤りがある場合は、再度「**3.1.1 支払伝票を作成する①**」もしくは「**3.1.2 支払伝票を作成する②**」を実施し、該当箇所を修正の上、一括請求ファイルを作成してください。

例)発生記録(債務者)請求確認表

発生記録(債務者)請求確認表										出力日時: 2014/06/20 10:08:10	
対象ファイル: 発生記録(債務者)請求20140620100810											
発生記録(予定)日: 2014/06/23											
債務者(請求者)情報											
利用者番号	債務者名	金融機関コード	支店コード	口座種別	口座番号			合計件数(件)	1		
AAAAAAAA	NTTデータ			2:当座	1100000			合計金額(円)	100,000		
債権者(取引先)情報/債権情報											
No	利用者番号	債権者名	金融機関コード	支店コード	口座種別	口座番号	債権金額(円)	支払期日	譲渡制限有無	依頼人Ref.No.	
1	1111111111	住入先A			2:当座	3300001	100,000	2014/07/31	0:無		

- 電子記録債権取引システムへの一括請求ファイル申請(アップロード)作業を実施してください。
電子記録債権取引システムより一括請求結果が返却後、業務編「**3.4 発生記録(債務者/債権者)請求の一括請求結果確認**」を実施してください。

例)一括請求結果確認表

一括請求結果確認表										出力日時: 2014/06/02 11:55:11	
読込ファイル: k420140201123456.txt											
結果: 正常											
通知作成日: 2014/06/17											
通知先利用者番号: AAAAAAAAA											
種別コード	00:発生・譲渡通知	通知先名		NTTデータ				合計件数(件)	1		
文字コード区分	0:JIS	通知先口座情報						合計金額(円)	100,000		
No	区分	記録番号	債権金額(円)	電子記録年月日	支払期日	債務者名	権利者名	債務者口座情報	権利者口座情報	譲渡制限有無	依頼人Ref.No.
1	01:発生(債務者請求)	A0000000100000100000	100,000	2014/06/17	2014/06/30	債務者	NTTデータ	2:当座	1100000	0:無	REF.NO.000001
						債権者	NTTデータ	2:当座	1100005		

一括請求 Assist[®] Ver.2 操作マニュアル

連携編(PCA 商管)

2023 年 1 月 4 日 第 2.6 版 発行

- ・本書の内容の一部あるいは全部(ソフトウェアおよびプログラムを含む)は、でんさいネット(全国銀行協会が提供する電子債権記録機関)を使用する目的に限り使用できるものとします。
 - ・なお、無断で複写・複製・転載・配布すること、および磁気または光記録媒体、コンピュータネットワーク上等へ入力することは、法律で認められた場合を除き、一括請求 Assist の著作者および販売者の権利の侵害となります。
 - ・本マニュアルに記載された内容、および本ソフトの仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。
-